

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年7月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103664
法人名	有限会社 ダイリュウ・メディカル
事業所名	グループホーム 大竜
所在地	鹿児島県鹿児島市大竜町6番8号 (電話) 099-248-5541
自己評価作成日	平成26年5月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年6月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者様が生きがいを持って過ごして頂けるよう、趣味や得意な事を生かされる場を作り、お互いに助けあえたり家庭的な雰囲気の関係がみられている。
- ・健康管理や筋力の維持に努め、毎日体操、嚥下体操等を行い個別に応じて散歩や下肢の訓練を行っている。
- ・花壇や果実・菜園を作り、一緒に観賞や収穫等楽しんでいる。
- ・食事面では、栄養面や季節の物を考慮し、嗜好に合わせたメニューや調理に配慮している。
- ・日常的に外出ができるようドライブデーを設け、希望に沿った所へお連れしている。
- ・医療機関との連携がとれており、定期的に訪問や助言を頂き受診の付き添いも行っている。

- ・当ホームの敷地内には菜園や花壇・果樹が植えられており、収穫して食事やおやつに使用し季節を感じている。
- ・町内会へ加入し役員として活躍している。地域行事への参加やあいご会の子ども達及び幼稚園児との交流、ホームバザーへの地域住民を招待、ボランティアや体験学習・実習生の受け入れなど、積極的に交流を行なっている。
- ・災害時の緊急時協力体制を地域住民と築く等、積極的に地域との交流を行っている。町内会や地域その他施設と合同で、炊き出し訓練を行うなど、緊急時の協力体制も整っている。
- ・協力医療機関との医療連携体制ができており、主治医の往診や薬剤師の服薬指導及び訪問看護師の健康管理が行われ、健康や医療面での家族等の安心となっている。
- ・ドライブデーで外出することや野菜や果実の収穫等、利用者が楽しめることを工夫し、利用者がその人らしく笑顔で過ごせるようなケアを施設長や管理者を中心に職員全員で取り組んでいる。
- ・生け花や書道、絵画など、利用者の特技・能力を生かした趣味活動を取り入れ、生きがいのある生活が送れるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者の立場に立って理念をつくり毎朝唱和し、日々意識し取り組めるようにしている。	毎朝2ユニット合同で行う申し送り時に理念を唱和している。言葉に出して理念を確認し合い、1日の始まりにしている。玄関や目につきやすい場所に掲示し、職員会議やミーティング等で確認しながら理念に沿ったケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	町内会に加入し活動に参加したり、交流をもったり、近隣の方との挨拶等の繋がりがある。	町内会に加入し役員を引き受ける等、積極的に地域と関わっている。地域行事への参加や幼稚園との定期交流、地域合同消防訓練など日常的に交流が図られている。あいご会の子どもの来訪もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	相談を受けた際説明したり、運営推進会議での意見や質問等でも説明できるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し運営の状況を報告したり、勉強会や活動に参加して頂いたりして、意見など頂いた場合は改善できるよう努めている。	会議は定期的開催され、ホームからの報告や参加者と意見交換をして、会議での話し合いを行い、年1回は防災訓練を町内会と施設と合同で行い、近くの公園での炊き出し訓練も実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護相談員が毎年訪問にて、運営の状況など伝えたり、利用者の意見、要望など聞きだして頂いている。研修会を通じて、指導も頂いている。	市担当者とは書類報告や相談等で出むき、福祉関係担当者との相談等も行って、協力関係を築いている。市の研修会に参加して情報を得ている。毎年、介護相談員を受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	昼間は鍵はかけておらず、自由に出入りできるようにしている。外へ出られる方は見守りや付き添っている。委員会にて定期的に話し合い確認している。	指針やマニュアルがあり、身体拘束・虐待廃止委員会で3ヶ月毎に話し合い、身体拘束をしないケアを実践している。言葉の拘束についても取り上げて事例の有無を確認している。玄関の施錠はせず、外出希望の利用者には見守りや付き添って散歩をする等、自然の形で対応している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を設け定期的に会議を開き、確認し話し合いをしている。又言葉遣いに留意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会に参加したり、新任には入職時、説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>予め入居前に契約に関する流れや説明を行い、締結になる場合も説明している。改定時には文書で説明し、家族会等で再度説明同意を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情・要望の窓口の案内を重要事項説明書に記載し、又意見箱の設置もしている。家族会や運営推進会議での意見を書面で見せたり、毎月の話し合いの中で報告している。</p>	<p>利用者からは日常生活の中で思いを聞いている。家族からは家族会や運営推進会議の機会に要望等を聞いている。個別にも面会時等に職員の方から声かけして思いを聞き運営に活かしている。2ヶ月毎に発行している広報誌で報告している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、代表者も含む話し合いと職員全員が参加する話し合いを行い、運営内容を報告したり、改善内容を確認している。</p>	<p>毎月のミーティングや運営会議で意見や提案・改善案を話し合う機会を作り、ケアや業務に関する意見が出されている。年1回の自己評価や施設長の個人面談・管理者が日常的に相談等を受けている。職員旅行で親睦を深め意見や要望の出やすい環境となっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年職員自身の自己評価を行い代表者との面談を行い聞いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に勉強会を設けたり、法人外で少なくとも年一回は研修に参加できるよう計画をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており、研修会等に参加したり同業者の実習の受け入れを行い、情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居事前に見学や面談を行ったり、訪問したりしてご様子を確認し、入居後は不安や困っていることなどないか聞いたり、配慮するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居事前に見学や面談を行い話を伺い要望など聞き、サービスの内容等説明したり、入居されてからも、ご様子を伝えたり情報を頂くなど行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族から知り得た情報をもとに可能なサービスを検討し、納得の上取り入れている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その人らしい生活を尊重しつつ本人の要望を取り入れ、趣味、得意なことを生かして一緒に、家事・野菜作り・裁縫など行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会、電話、手紙などで本人とご家族の連絡をとって頂いたり、定期的に広報紙や家族会、運営推進会議などでも、意見を聞いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に来訪して頂いたり、外出や外泊をして頂いたり、自由に交流をして頂くようにしている。	面会しやすい環境づくりに努め、知人や友人の面会も多い。利用者の希望に沿って家族の協力を得ながら、寺や墓参り・デパートへの買い物・馴染みの美容室へ出かけたりして支援している。家族の協力も得て実施している。電話や手紙・年賀状書き等に取り組む等、これまで大切にしてきた生活や関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に応じて過ごして頂き、孤立されないよう交流の場を設けたり、職員が間に入り会話や傍に寄り添うなど努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、相談や協力ができる事については、知らせて頂くよう声をかけ、必要時支援している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話や話し合いの場で情報共有したり、困難な場合はご家族や以前の暮らしぶりから本人の立場にたった思いに添えるよう努めている。	日々のふれあいの中での会話や表情・しぐさから希望や意向を汲み取るよう心がけている。本人の言葉を大切に記録している。記録を基に職員が情報を共有し、意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は家族や職員で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にお聞きしたり、訪問し確認したり、ご家族や関係者の方から情報を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別にの状態に応じてバイタルチェックを行い、できる事の確認シートを活用し活動への援助を行い、状態を確認している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段から要望を聞きつつ、利用者一人ずつ担当を決めアセスメントを行い、皆でカンファレンスで出し合い計画作成している。医療的な事は協力機関から助言を聞くなどしている。	本人及び家族の要望等を基に、事前に把握した事項を考慮しカンファレンスで職員が意見を出し合って介護計画を作成している。モニタリングは担当者が毎月実施し、3ヶ月毎に全体で検討している。6ヶ月毎に見直しを行っている。変化時にはその都度、協力医療機関の助言を貰いながら現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護計画に沿って個別の記録を行い、担当者による評価と3か月目に皆で評価を行い、6か月又は状態の変化があった時は、見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>要望に応じて、訪問理美容、訪問マッサージ、訪問歯科等を取り入れており、専門医の往診等も利用者の状況に応じて取り入れている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会の活動や地域の幼稚園交流を定期的に行い、個別に応じて近隣のスーパーやお寺・神社など利用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望されるかかりつけ医で、協力機関への受診は援助し、主治医は定期的に訪問や薬剤師による服薬指導も取り入れ助言を頂いている。</p>	<p>かかりつけ医は本人及び家族の希望で受診の支援をしている。協力医療機関から2週間毎に主治医の往診、月2回薬剤師による服薬指導がある。歯科・泌尿器科・心療内科の往診もあり、家族の協力を得ながら、職員対応で支援している。適切な医療が受けられるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携をとっており、定期的に訪問看護師による健康チェックや状態変化に応じて連絡し、相談や指示をもらっている、</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に主治医からご家族へ治療計画や入院期間等家族へ説明されたり、同席するなど行い、経過も主治医や関係者へ確認し伝えるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合に係わる指針を説明、同意して頂き、看取りの希望をされた場合、関係者と共に話し合い体制を確認し契約を交わし取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化した場合の指針を説明し同意書をもらっている。看取り希望の場合は、家族や主治医・訪問看護師等を交えて話し合い、職員も共有し、家族の意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会で、AEDを使った救急法や医療関係者による指導を頂いている。マニュアルやひやり・ハットの記録を活用し、未然に事故を防げるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練は年2回、地震、津波風水害等の訓練を年2回行い、年1回は、地域の方の協力を頂いた訓練を実施している。町内会の活動に合わせて、炊き出し訓練も実施した。家族への連絡網も作成している。</p>	<p>消防署の指導で年2回風水害や地震・津波の訓練、防火訓練では年2回昼夜間想定で実施している。AEDの使用方法や心肺蘇生法などの講習を受けている。訓練には地域のおやじの会等の参加がある。町内会との合同で近隣公園において避難時の炊き出し訓練を実施している。緊急連絡網を作成し、非常用の水や食糧等も備蓄されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉遣いに留意して、本人の意向に沿えるように努めて、委員会で検討しあって報告をしている。</p>	<p>個人情報やプライバシー保護についてのマニュアルがあり、勉強会も定期的実施している。言葉かけについては、会議で検討したり、年末にはケアの振り返りを行っている。特に排泄支援では誇りやプライバシーを損ねないように、さり気ない声かけの配慮をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>普段の会話や関わりの中で、希望を聞きだしたり、定期的に担当者で聞くようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>可能な限り本人の希望に沿えるよう関わりつつ、話し合いの中で情報共有し、統一された対応ができるよう努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に訪問美容、美容室を利用して頂いたり、個別に応じて髪染や化粧をして頂いている。外出や行事等ではおしゃれに配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に嗜好調査を行い、個別に応じて好みの物をお出しし、季節の物をメニューに加えたり、できる方は食事の準備、片付けをお願いしている。	年2回、嗜好調査を行いそれを参考に献立を作成している。敷地内で収穫した野菜や果物で季節を感じてもらえるように努めている。力量に応じて食事の下準備や後かたづけなどを行い、職員と一緒に食事をしている。梅干し漬けの保存食作りや外食・弁当持参のお出かけ・誕生日のケーキ作りも楽しく一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時の摂取量をチェックを行い個別に応じて量を調整し、食欲不振の方へは補食を行い、水分量の少ない方は好みの物で補給して頂き脱水に留意している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけし、個別に応じて援助を行い口腔の清潔に努めている。治療の必要な方は協力歯科に依頼し、助言や指導を頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状態に応じておむつやポータブルトイレの使用を使い分け、本人の尿・便意を確認したり、困難な方は排泄のパターンに応じて援助を行っている。	排泄パターンを把握し、それぞれに合わせて日中は、できるだけオムツ使用はせずに、声かけでトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っている。排便コントロールも食事や運動・薬の調整で行っている。夜間は、一人ひとりの状況に応じた無理のない排泄支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日手作りのヨーグルトをお出しし、個別に希望に応じてヤクルト飲料、果物や繊維のある食品を取り入れ便通を整えている。体操は毎日行い排便困難時は内服を調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は週3回にしているが、状態変化に応じて、随時シャワー浴も行い、ご本人の意向に沿いながら、タイミングを見て声をかけるよう努めている。入浴日の他足浴も設けている。	入浴は週3回を基本に、個々の希望で午前中にしており、生活習慣・体調に応じて柔軟に対応している。入浴日以外はシャワー浴や足浴を行い保清に努めている。利用者の一人ひとりのタイミングを見ながら声かけしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別に応じた就寝時間や昼寝で、安眠されるよう声かけや水分補給等行っている。寂しさや眠れない方へ落ち着く場や寝具・室温調整、補食等の援助をしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容をいつでも確認できるよう整備し、定期的に薬剤師による服薬指導を受け、訪問看護師からも助言や指導を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	知り得た情報をもとに、家事、園芸、手芸、散歩、買い物、生け花、絵画等生活に取り入れるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別に希望に応じて、近辺の散歩、買い物等、日常的に取り入れ、毎週ドライブデーを設け少なくとも月1回は希望される所へ出かけられるようにして、ご家族の協力の可能な方は一緒に外出されている。	日常的に近隣の散歩やスーパーマーケット・コンビニ等への買い物等へ出かけている。週1回、ドライブデーでは計画的に利用者の希望に沿って、花見や外食・ピクニック・海等へ出かけている。家族の協力を得ながら墓参りやデパート等の外出支援もしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の可能な方は所持して頂き、出納簿を準備したり、買い物の希望時は準備しご本人の納得の上購入されている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	個別に応じて、手紙のやり取りや電話等利用して頂き、年末には年賀状の作成をしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の居室、座席等、本人が分かるよう配慮し、それぞれに作成した作品等も掲示し話題になっている。調理の音や季節の花を置いたり、ゆっくりくつろげる和室やソファを設けている。	落ち着いた明るいゆったりした雰囲気の共用空間は掃除が行き届き、生け花や書道・絵画作品が展示されている。台所は対面キッチンとなっている。和室へ続く空間は、季節の花があちこちに飾られている。テーブルや椅子・ソファが置かれ、直接外へ出られるテラスもあり、居心地良く過ごせる環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや和室、テラスなどの落ち着く場所でくつろげるよう配慮し、気の合う方との談話もできるよう努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は個室で本人の希望に合わせて必要な物や家族の写真、仏壇、花等を準備して頂き、状態に応じて家具の位置やポータブルトイレなど設置している。	広い居室は、タンスやテレビ・観葉植物等が置かれ、ベッドとチェスト・洗面台が備え付けられ、必要に応じてポータブルトイレが置かれている。本人の使い慣れた家具や仏壇等を持ち込んだり、写真等を飾っている。大きな窓は出窓になっており写真や花・ぬいぐるみなどが置かれ、それぞれに居心地良く過ごせるよう工夫されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個別に応じて居室や食卓等に名前や目印、居室内にポータブルトイレや手すり等を設置し、ご本人で維持できるようにしている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない